

第201回医療情報システム研究会

IT-BCP実現のための具体的な対策と訓練

～診療継続のために、現場で備えてやるべきこと～

日時

2024年 7月 18日

木

15:00~17:30

(接続開始 14:30~)

開催形態

富士通OsakaHubまたはオンライン



【会場】大阪市中央区城見2-2-6 (JR大阪環状線・東西線徒歩6分)

<https://www.fujitsu.com/jp/about/corporate/facilities/branches/index.html#pref-osaka>

【オンライン】Zoom

皆さまご承知のとおり2024年度の診療報酬改定においては診療録管理体制加算の見直しが行われ、非常時に備えたサイバーセキュリティ対策等の整備に関わる要件および評価が見直されております。各医療機関様におかれましては、セキュリティ対策への早急な対応が求められており、「IT-BCP策定」の具体的な進め方・対応に苦慮されているというお声を多く耳にいたします。あらゆる緊急事態においても、「医療を止めない」ための対策と備えが必要であり、「IT-BCPの策定」と「日々の訓練」が事業継続へと繋がります。

今回の例会は、「IT-BCPに関する概要と指針」について、群馬大学医学部附属病院 鳥飼副センター長よりご講演いただきます。後半では、大津赤十字病院 橋本様より、実際に赤十字病院様で実施されている「BCP訓練」についてご講演いただきます。既にIT-BCP対策を始められている病院様、これから検討を始められる病院様にとっても、大変参考になる内容です。是非、ご参加いただき、自院の対策の一助となれば幸いです。たくさんのご参加をお待ちしております。

お申し込み方法



<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/106984>

【締切】 2024年7月16日 (火)



▶ 上記WebサイトまたはQRコード (左図) を読み取り、お申し込みください。
※申し込みサイトで、**会場参加 (80名限定/先着順)**・**オンライン**をご選択いただきます。
※お申込み後、登録いただいたe-mailアドレス宛に当日のURLなど詳細を送付いたします。

▶ E-mailでのお申込みの方は、①参加者氏名、②施設名、③所属 (役職)、④e-mailアドレス、⑤当日の連絡先、⑥参加方法 (会場・オンライン) を記載のうえ、以下宛先に送付ください。

【送付先】 contact-hug@cs.jp.fujitsu.com

<個人情報の取り扱いについて>

ご記入いただいた情報は、「医療情報システム研究会」運営委員会および富士通Japan株式会社が本研究会に関する連絡、参加状況管理など、運営目的に利用いたします。ご記入いただいた内容についての開示、訂正、追加、削除は、上記申込先までご連絡ください。

ご参加対象



✓ 対象者：医療情報システム研究会会員および医療機関様 (1施設複数名の参加可)

✓ 参加費：[会員] 無料 [非会員] 1,000円/人

※非会員様には、Peatix(イベント管理・チケット販売サービス)にてチケットを購入いただきます。

チケット購入についての詳細は、お申込み後に事務局よりご連絡いたします。

【主催】 医療情報システム研究会 <https://iryoy-jyoho.jp/>

医療情報システム研究会



15:00～15:10 開会のご挨拶

15:10～16:20 【ご講演】省庁標準となるRisk Management Framework(RMF)に即したIT-BCP対策
 国立大学法人 群馬大学 医学部附属病院システム統合センター
 副センター長 准教授 鳥飼 幸太 様

16:20～16:30 === 休憩 (10分) ===

16:30～17:00 【ご講演】IT-BCPに基づく教育・訓練の実際
 ～いかに計画して実践から評価、そして次につなげるかを考える～
 大津赤十字病院 事務部 医療情報課 課長 橋本 智広 様

17:00～17:20 【ご紹介】二要素認証ソリューション「Taikoban」
 株式会社イードクトル 様

17:20～17:30 閉会のご挨拶

講師紹介



✓ 国立大学法人 群馬大学医学部附属病院
 システム統合センター 副センター長 准教授 鳥飼 幸太 様

持続的な機能拡張を可能とする病院情報システムのグランドデザイン設計と実証を研究テーマとして活動。2023年度より日本HL7協会情報教育委員会副委員長、厚生労働省特別研究IT-BCPの策定・研究代表、医療CISOの育成に関する提言・分担研究に参画。
 2019年より日本医療情報学会課題研究会・FHIR研究会にて、院内Web化・FHIR標準化を推進。
 2012年にはRFID薬剤トレーサビリティで自動認識システム大賞を受賞。2022年度には総務省ローカル5G利活用事業に採択され、医療DXである院内外トレーサビリティの実証を実施。
 分担著書に標準テキストである医療情報 第6/7版（電子カルテ、篠原出版新社）。



✓ 大津赤十字病院 事務部 医療情報課 課長 橋本 智広 様

2003年大阪電気通信大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。同年から2007年まで、株式会社滋賀富士通ソフトウェア（現、富士通株式会社）に入社、電子カルテシステムの提案・開発・導入・保守業務に従事。2008年から大津赤十字病院に入職し、医療情報システム運用管理および診療情報管理、医師事務作業補助に関する業務に従事。上級医療情報技師、上級医療情報技師育成指導者、診療情報管理士、日本医療情報学会評議員、関西医療情報技師会世話人等。



運営委員

- ・北村 臣 (奈良県総合リハビリテーションセンター 医事課)
- ・堀 謙太 (兵庫医科大学 医学部 医療情報学)
- ・内林 幸太 (淀川キリスト教病院 情報管理課)
- ・渡邊 謙太 (愛仁会 千船病院・尼崎だいもつ病院 診療情報管理室)
- ・北口 宏 (関西医科大学くずは病院 事務部)
- ・中島 清訓 (大阪回生病院 医療事務部)
- ・杉原 敬彦 (甲南会甲南医療センター 医療情報部)
- ・橋本 尚也 (大阪府済生会吹田病院 情報システム課)
- ・乗替 寿浩 (パナソニック健康保険組合松下記念病院 経営企画室 室長 兼 事務部 医療情報システム課)

✓ お問い合わせ先 「医療情報システム研究会 事務局」 contact-hug@cs.jp.fujitsu.com

富士通Japan株式会社 関西ヘルスケアビジネス統括部内
 担当：武田、辻本、國定、足立

(緊急時のご連絡先) 080-8943-5323 (平日 9:00～17:30)

